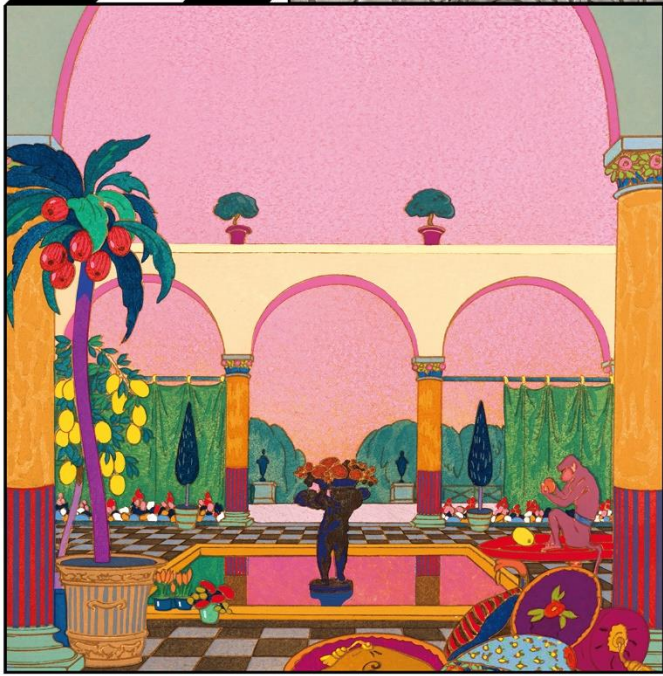


The Art Deco Garden: Exploring the Aesthetic Fruits of the Residence of Prince Asaka

装飾の庭

朝香宮邸の
アール・デコと庭園芸術

開館40周年記念



入館料 | 一般1,400(1,120)円、大学生(専修・各種専門学校含む)1,120(890)円、
中学生・高校生および65歳以上700(560)円

※施設メンテナンスによる事前予約制を導入しています。チケット販売に関する最新情報は、当館ウェブサイトをご確認ください。
*オンラインでの予約が難しい方は、東京都立美術館観覧券センター(03-3463-7700)までお問い合わせください。
当日の入場枠でご案内しますが、当日の観覧等の状況によりご希望の時間に入場できない場合や、入場をお断りする可能性もあります。

(1) 19歳以上のお子様料金 / 小学生以下および都内在住小学生の小学生は無料 /
身体障害者手帳・病の予備・障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・障害者就業・生活支援センター利用者(身体障害者手帳) /
障害者年金受給者として施設が指定する期間の心身障害者(身体障害者手帳) / 障害者年金受給者(障害者手帳) / 障害者年金受給者(障害者手帳) /
2023年10月1日(日)は開館40周年を記念して入館料は無料

主催 | 公益財団法人東京歴史文化財団 東京都庭園美術館
年間協賛 | 戸田建設株式会社、ブルームバーグ・ヴァン・クレーフ・アルペルズ

協賛 | 東京都観光協会(03-319-4400) / 日経-総合研究所(03-3441-8000) / 東京大学(03-3810-1000) / 三井物産(03-3463-7700) / 三井住友銀行(03-3463-7700) / 三井住友海上(03-3463-7700) / 三井住友火災(03-3463-7700) / 三井住友生命(03-3463-7700) / 三井住友信託(03-3463-7700) / 三井住友クレジット(03-3463-7700) / 三井住友カード(03-3463-7700) / 三井住友銀行(03-3463-7700) / 三井住友海上(03-3463-7700) / 三井住友火災(03-3463-7700) / 三井住友生命(03-3463-7700) / 三井住友信託(03-3463-7700) / 三井住友クレジット(03-3463-7700) / 三井住友カード(03-3463-7700)

2023.
9.23(土・祝) — 12.10(日)

開館時間 | 10:00 - 18:00(入館は開館の30分前まで)
*ただし、11月17日(金)、18日(土)、24日(金)、25日(土)、12月1日(金)、2日(土)は
夜間開館のため夜20:00まで開館(入館は19:30まで)

休館日 | 毎週月曜日 *ただし、10月9日(月・祝)は開館、10月10日(火)は休館

Exhibition period | Saturday, September 23 — Sunday, December 10, 2023
Hours | 10:00-18:00 Last admission at 17:30
November 17, 18, 24, 25 and December 1, 2 opening until 20:00 (Last admission at 19:30)
Closed | Mondays(except October 9), October 10

40th Anniversary

東京都庭園美術館
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL 03-3463-7700 FAX 03-3463-7701
www.teien-art-museum.ac.jp



URL | www.teien-art-museum.ac.jp SNS | @teienartmuseum

プレス関係各位

日頃より東京都庭園美術館をお引き立ていただき誠にありがとうございます。

当館では、2023年9月23日（土・祝）～12月10日（日）の会期で「**装飾の庭 朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術**」展を開催いたします。都内にありながら広大な自然を有する当館は、昭和初期の歴史的建造物、室内空間を活用した展覧会、そして四季折々の庭園を一体のものとしてお楽しみいただける施設として、開館以来多くの皆様にご来館いただいております。このたび開館40周年を記念して開催する本展は「庭園」をキーワードに当館の建築や空間について読み解くと共に、戦間期フランスのアール・デコの動向についてご紹介するものです。ぜひ貴媒体にて本展をご紹介いただければ幸いです。

展覧会情報

展覧会名称	和文 装飾の庭 朝香宮邸のアール・デコと庭園芸術 英文 The Art Deco Garden: Exploring the Aesthetic Fruit of the Residence of Prince Asaka
会 期	2023年9月23日（土・祝）-12月10日（日）
開館時間	10：00-18：00 ＊入館は閉館の30分前まで ＊ただし、11月17日（金）18日（土）24日（金）25日（土）、12月1日（金）、2日（土）は夜間開館のため夜20：00まで開館（入館は19：30まで）
休 館 日	毎週月曜日（ただし10月9日は開館）、10月10日（火）
会 場	東京都庭園美術館（〒108-0071 東京都港区白金台5-21-9）
入 館 料	一般＝1,400（1,120）円／大学生（専修・各種専門学校含む）＝1,120（890）円 中・高校生＝700（560）円／65歳以上＝700（560）円 <u>本展は日時指定の事前予約制です。</u> ※（ ）内は20名以上の団体料金 ※小学生以下および都内在住在学の中中学生は無料 ※身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその介護者2名は無料 ※第3水曜日（シルバーデー）は65歳以上の方は無料 ※2023年10月1日（日）は開館40周年を記念して入館料は無料
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館
年間協賛	戸田建設株式会社、ブルームバーク L.P. Bloomberg Van Cleef & Arpels

東京都庭園美術館は開館40周年を迎えます

- ・キャッチコピー「わたしのいい日に ようこそ40年目の美術館へ」
- ・10月1日（都民の日）はいつもの庭園入場無料に加え、**開館40周年の今年は特別に本展も無料にてご覧いただけます。**
- ・関連イベントの詳細は特設サイトにて随時お知らせします。
- ・SNSでも40周年を盛り上げます。#Teien40th で検索！
あなたにとっての「東京都庭園美術館40周年」をぜひシェアしてください。
- ・40周年特設サイトはこちらから <https://teien40th.jp/>
館長 妹島和世からのご挨拶など、コンテンツ多数です。



展覧会概要

1933年（昭和8年）、東京・白金の御料地の一部を敷地として朝香宮邸（現・東京都庭園美術館）は竣工しました。約一万坪の敷地の庭園部分には、広々とした芝生が広がり、日本庭園、盆栽・花卉園（かきえん）が備わり、鶴や孔雀などの動物たちが闊歩していました。同邸宅内の壁面には、遠景に山々を望む森林や水を湛えた庭園の風景が描かれており、室内に居ながらにして自然の中にいるかのような装飾プランが展開されています。主要客室の装飾を手がけたフランス人装飾芸術家アンリ・ラパン（1873-1939）によって描かれたこの一連の装飾画は、朝香宮邸のコンセプトを読み解く鍵であると共に、当時のフランスにおける庭園芸術との関連性を指摘することのできる作品でもあります。

同邸の装飾プランに多大な影響を及ぼしたとされる1925年のアール・デコ博覧会において、「庭園芸術」は初めて独立した出品分類として設けられるなど、重要視されていました。造園家のみならず、建築家や装飾芸術家も“庭”を如何に“装飾”するかということに心を砕き、各パヴィリオンの周囲や街路には多様な庭園が造りこまれました。

本展では、博覧会を中心とした両大戦間期のフランスの近代庭園を巡る動向に着目し、古典主義・エキゾティシズム・キュビズム的要素を取り入れて展開していった様について、絵画や彫刻、工芸、版画、写真、文献資料等、約120点の作品からご紹介します。本展を通して、当館建築の装飾や空間自体についてのより一層の理解を深めることを目指します。

特別公開

ウインターガーデン（旧朝香宮邸三階）の公開

本展会期中、旧朝香宮邸（本館）三階のウインターガーデンを一般公開いたします。三面あるガラス面から日光が降り注ぐこの部屋は、花台や水道の蛇口、排水溝などが備え付けられ、市松模様の大理石が印象的な、邸宅の中でも最もモダンな空間となっています。屋内に造られた小さな「冬園」をどうぞお楽しみください。



[注意事項]

- ①定員制のため、混雑時の見学は10分以内でお願いいたします。
- ②二階から三階へのエレベーターはございません。
- ③階段の手すり壁が低くなっておりますので身を乗り出さないようにご注意ください。
- ④緊急時は、係員の指示に必ず従ってください。

会場情報

東京都庭園美術館 | 東京都港区白金台5-21-9

[目黒駅] JR 山手線東口 / 東急目黒線正面口より徒歩7分

[白金台駅] 都営三田線 / 東京メトロ南北線1番出口より徒歩6分

TEL. 050-5541-8600 (ハローダイヤル) 03-3443-0201 (代表) / FAX. 03-3443-3228

Website www.teien-art-museum.ne.jp

Follow us on Facebook, Twitter, Instagram @teienartmuseum

みどころ

1 アール・デコ時代の「庭園芸術」を特集する日本で初めての展覧会

20世紀初頭、それまで欧州に広く普及していたイギリス風景式庭園に対抗し、フランスでは新しい庭園の造形、理念の構築が目指されていました。造園家のアンドレ&ポール・ヴェラ兄弟は、1910年代に意欲的な著作を通じてこの動向の中心をなしました。こうした動きを背景に開催された1925年のアール・デコ博覧会は、庭園を装飾芸術の一分野として捉え、5つあるカテゴリーの1つとして掲げた初めての国際博覧会でした。実験的かつ独創的な庭園が多数発表され、その後の1930年代以降の欧米における近代的な庭園デザインの成立に大きな影響を与えました。本展では、キュビズムやエキゾティシズムの要素を取り入れて発展した庭園芸術について、ガブリエル・ゲヴレキアン、ロベール・マレ＝ステヴァンス、アルベール・ラプラード、ル・コルビュジエらの作例を通してご紹介します。

2 アンリ・ラパンによる朝香宮邸装飾プランの成立背景を探る

フランス人装飾芸術家であるアンリ・ラパンの手がけた仕事の中でも、欧州から遠く離れた極東・日本における、皇族邸の室内装飾の仕事は最も大きなものの一つと言えるでしょう。ラパンは、ルネ・ラリック、レイモン・シュブ、マックス・アングランらと協働してこのプロジェクトに関わり、全体の統括者としての役割を果たす一方で、自らも森林や噴水のある庭園風景を描きました。本展では、ラパンの手によるこれらの装飾壁画を丁寧にご紹介すると共に、これまでの調査・研究では触れられてこなかったラパン自身の著述やブラジルにおける邸宅計画に関する資料等から、朝香宮邸の装飾プランの成立に至るまでの過程や背景について探ります。

3 ウィンターガーデンにおける特別な空間演出

「Winter Garden」とは、元々冬の寒さが厳しい北欧や北米において、冬季の植物の生育の場として発展した室内庭園のことを指します。当館の最上部に設けられたウィンターガーデンには、温室らしく太陽光を豊富に取り入れるためのガラス窓、植物の世話をするための花台、水道の蛇口や排水溝等が備え付けられています。随所にアール・デコの意匠がちりばめられ、市松模様の大大理石とドイツ製鋼管家具との取り合わせが印象的な、モダンかつ魅力的な空間となっています。本展では、この空間用途本来の魅力を引き出すべく、イミテーショングリーンを用いた特別な演出を行います。屋内の小さな“冬園”をどうぞお楽しみください。

会期中の
プログラム



<https://www.teien-art-museum.ne.jp/accessprograms.html>

詳細はウェブサイトからご確認ください

東京都庭園美術館は、あらゆる方にとって居心地の良い場となることを目指し、来館するすべての人がフラットに、安心して楽しめる環境づくりに取り組みます。フラットデー開催日はオンラインチケットをご予約・購入済の方、障害者手帳等をお持ちの方や各種割引が適用される方、無料対象の方以外はお入りいただけません。あらかじめご了承ください。

① ゆったり鑑賞日

障害がある方も、ない方も、美術館をゆっくり楽しみませんか？

全体の入館人数を制限し、普段よりも空いた環境でゆっくりとご鑑賞いただける一日です。多くの人で賑わう美術館に不安がある方も、車椅子の方や介助等が必要な方も、安心してお過ごしいただけます。

開催日時：11月8日（水）10:00～18:00（最終入館17:30）

② ベビーアワー

赤ちゃんと暮らすご家族のみなさんに気兼ねなく展覧会をご覧いただける時間です。普段はベビーカーを使うことができない本館もベビーカーのままご入館いただけます。*館内でベビーカーを利用希望の方は事前の申し込みが必要です。時間毎に台数の上限を設けます。ご了承ください。

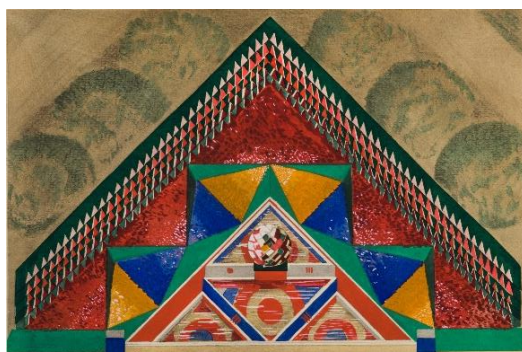
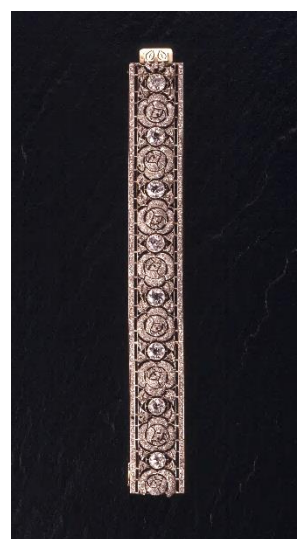
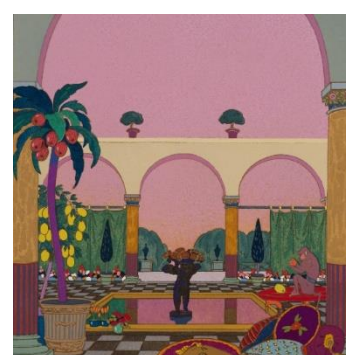
開催日時：11月22日（水）10:00～14:00

鑑賞ツアー同時開催

フラットデー当日はアート・コミュニケーターによる鑑賞ツアーも行います。



会期中に開催される展覧会プログラムは随時追加される予定です。詳細は決まり次第、当館ウェブサイトでお知らせいたします。



1	2	3
4	5	6
7	8	9
10		

- 1.レイモン・シャルメゾン「大壺」『貴重な庭園』1919年
- 2.ロベール・マレステヴァンス「庭園」『1925年パリ装飾美術博覧会：建築と庭園』1925年
- 3.ポール・ボワレ《デイ・ドレス》1910年頃
- 4.ジョセフ・コルミエ、セーヴル製陶所/室《女性と子ども》1931年
- 5.セーヴル製陶所/室 花瓶 オベールNo.8 1927年
- 6.レイモン・シャルメゾン「アトリウム」『貴重な庭園』1919年
- 7.アンリ・ラバン「セーヴル製陶所館前庭」『1925年庭園』1926年
- 8.東京都庭園美術館本館 小客室
- 9.バンスラン プレスレット 1924年
- 10.ガブリエル・グヴェレキアン「水と光の庭」『1925年庭園』1926年

※所蔵はすべて東京都庭園美術館

お問い合わせ先

東京都庭園美術館 (〒108-0071 東京都港区白金台5-21-9) TEL. 03-3443-0201

ウェブサイト：<https://www.teien-art-museum.ne.jp/> メール：press@teien-art-museum.ne.jp

広報担当：板谷、斉藤